



防災のとびら

東日本大震災から
3052日

石巻市立広瀨小学校防災だより 文責：佐竹
令和元年7月18日 No.10

みんなの命は地域で支える！

7月17日（水）に、令和元年度第1回学校安全委員会も広瀨小学校で行いました。学校安全委員会とは、学校安全に関する計画や取組について、関係機関（PTA、行政委員さん、警察署、消防署、河南西中学校、広瀨小学校児童など）からご意見・ご助言等を得るために開かれるものです。今回の学校安全委員会では、顔合わせと安全委員会についての説明、SPS（セーフティプロモーションスクール）、今年度の防災の取組、今後の委員会のもち方の確認などを行いました。



学校安全委員会の一番大きな趣旨は、「より安全でより安心な学校づくり」を目指すことです。その為に、学校・家庭・地域・関係機関が、幅広い視点で連携を図っていくことが大切です。また、委員会の大きな特色として、子供たちが参加し子供の視点に立って気付いたことを発信していくことがあります。子供たちが培った知識や経験を、子供たちが大人になったときに次の世代へつないでいくことも大きな願いです。

児童代表として、安全委員の本田こころさんと片倉悠那さんが出席しました。今回初めて参加してこころさんは、「広小が安心で安全な場所にするために、右側通行や上履のかかとを踏まないように呼び掛けていきたいです。」悠那さんは、「安全で楽しく過ごせる学校にするために、廊下の右側を歩くことや安全点検をして危険な場所を知らせることを頑張りたいです。」と日頃から委員として取り組んでいることを発表しました。



情報交換では、河南地区の危険箇所を確認し、ヘルメットをきちんと被って自転車に乗ることや、ネットトラブルを避けるためにノーゲームデーがあることを家庭でも声掛けしていくことなど交流することができ、実りある時間となりました。これまで取り組みが基盤となって、SPSに認証されての2年目がスタートしています。今後も安全安心な学校づくりを目指して、保護者・地域の方々と連携をとりながら取り組んでいきます。